

「熊野古道アクションプログラム3 追記編」の概要

1 対象期間 令和4年4月から令和8年3月まで

2 課題

- ・持続可能な古道保全の仕組みを直ちに構築する必要がある
- ・熊野古道伊勢路の本質的価値を伝え「現代の巡礼道」を目指す取組は道半ば

3 めざす姿

「歩き旅」を「現代の巡礼道」の象徴的なイメージとしながら、さまざまな目的で多くの人々が伊勢路を訪れ、それが地域の活力になっている。

4 活動指針と具体的な取組（※主な変更点のみ）

目標1 価値に気づく

- ・世界遺産登録20周年に向けて「伊勢路の強みを維持し、高め、伝える」をメインテーマに取組を立案 【追記】
- ・スペイン・バスク自治州との覚書の締結を生かしたシンポジウムの開催 【追記】

目標2 守り伝える

- ・持続可能な保全体制を熊野古道協働会議の分科会により検討 【追記】
- ・熊野古道語り部の養成機会の拡充（未養成エリア含む） 【追記】
- ・世界遺産追加登録に向けた未登録文化財の発見、保存、活用の推進 【追記】

目標3 伊勢路を結ぶ、地域を活かす

- ・熊野古道協働会議の分科会による「案内等表記ガイドライン」（仮称）の策定 【追記】
- ・バリア情報の調査及び調査結果を踏まえた対応 【追記】
- ・「歩き旅」に適した宿泊・休息施設の増大とPR 【修正】
- ・宿泊施設での「歩き旅」案内所機能の充実 【追記】

5 その他

熊野古道アクションプログラム3からの変更点は、以下の凡例のとおりとなっています。

- <凡例> 【追記】：アクションプログラム3の内容に追記
【修正】： 〃 の内容を修正
【新】： 〃 になかった内容を新たに記載